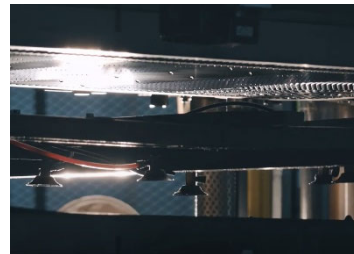


2026年3月期 第2四半期 決算説明会 資料



2025年11月27日

目次

■ 会社概要	・ ・ ・	2
■ 2026年3月期第2四半期 決算の概要	・ ・ ・	4
■ 2026年3月期 決算の見通し	・ ・ ・	15
■ 企業価値向上に向けた取り組み	・ ・ ・	22

会社概要

社名

株式会社 日阪製作所
HISAKA WORKS, LTD.

創業年月

1942年5月（昭和17年5月）

事業内容

産業機械製造販売業（熱交換器、蒸発・蒸留・凝縮装置、染色仕上
機器、食品機器、医薬機器、ボールバルブなど）、発電事業

資本金

41億5千万円

発行済株式総数

28,732,800株

株式上場

東京証券取引所 プライム市場

売上高

383億円（連結／2025年3月期）

従業員数

1,032名（連結）

関係会社数

13社（海外関係会社含む）

国内拠点

大阪本社、鴻池事業所、青梅事業所、生駒事業所
東京・名古屋・九州・北九州支店、北海道・さいたま・千葉・尾道営業所

海外拠点

マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、中国、
サウジアラビア、カタール、UAE、韓国

※2025年3月末現在

日阪グループの事業構成

売上高比率
(2025年3月期実績)

熱交換器事業

42.1%

プロセス
エンジニアリング
(P E) 事業

44.8%

バルブ
事業

12.9%

その他
0.2%



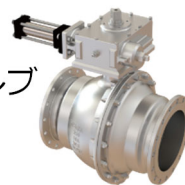
●プレート式熱交換器



●太陽光発電事業
(その他)



●ボールバルブ



●レトルト調理殺菌装置



●連続液体滅菌装置



●液流染色機



●全自動連続殺菌冷却装置
(リフトスチーマーZ)

2026年3月期第2四半期 決算概要

(百万円)

1-①. 決算の概要 (前年同期比)

	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	21,100	—	20,259	—	▲ 841	▲ 4.0%
うち、海外受注高	4,636		4,680		43	0.9%
売上高	18,000	—	21,893	—	3,893	21.6%
うち、海外売上高	3,851		4,046		195	5.1%
営業利益	1,129	6.3%	1,822	8.3%	693	61.4%
経常利益	1,352	7.5%	1,929	8.8%	577	42.7%
親会社株主に帰属 する中間純利益	1,036	5.8%	1,419	6.5%	382	36.9%

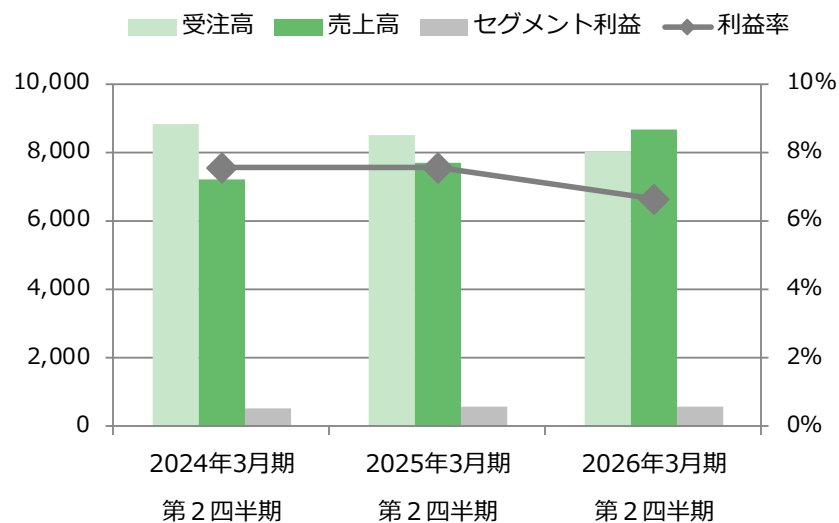
(百万円)

1-②. 決算の概要 (計画比)

	2026年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		計画比	
	計画	利益率	実績	利益率	差額	達成率
受注高	20,000	—	20,259	—	259	101.3%
売上高	23,000	—	21,893	—	▲ 1,106	95.2%
営業利益	1,700	7.4%	1,822	8.3%	122	107.2%
経常利益	1,900	8.3%	1,929	8.8%	29	101.5%
親会社株主に帰属 する中間純利益	1,330	5.8%	1,419	6.5%	89	106.7%

2-①. 熱交換器事業 (前年同期比)

	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	8,479	—	8,029	—	▲ 450	▲ 5.3%
うち、海外受注高	2,865		2,326		▲ 539	▲ 18.8%
売上高	7,719	—	8,694	—	974	12.6%
うち、海外売上高	2,033		2,999		965	47.5%
セグメント利益	585	7.6%	580	6.7%	▲ 4	▲ 0.8%



<受注高>

- 国内メンテナンス案件、海外プラント案件が好調
- × 空調向け、工作機械向けが低調
- × 前年同期に好調であった船舶向けの反動減

<売上高>

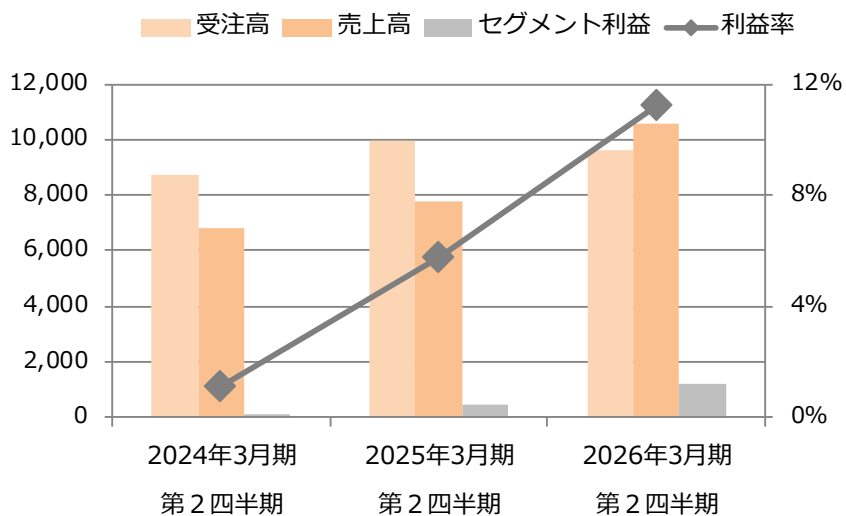
- エネルギー関連の海外大口案件が寄与
- 国内メンテナンス案件が増加

<セグメント利益>

- 売上高の増加
- × セールスマックスの悪化
- × 鴻池事業所再構築にかかる費用計上

2-②. プロセスエンジニアリング事業 (前年同期比)

	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	9,970	—	9,603	—	▲ 367	▲ 3.7%
うち、海外受注高	1,344		2,130		786	58.4%
売上高	7,779	—	10,615	—	2,836	36.5%
うち、海外売上高	1,366		704		▲ 662	▲ 48.5%
セグメント利益	450	5.8%	1,194	11.3%	743	165.0%



<受注高>

- 医薬機器、染色仕上機器で海外向け大口案件を受注
- × 前年同期の食品向け大口プラント案件の反動減

<売上高>

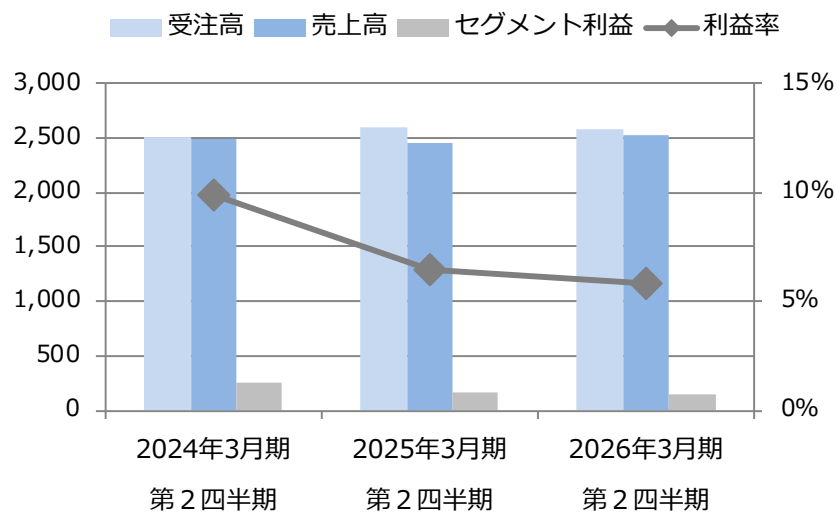
- 飲料水などの液体プラント案件が好調
- 全自動連続殺菌冷却装置が伸長
- 医薬機器の大型プラント案件を納入

<セグメント利益>

- 売上高の増加
- 好採算案件の計上

2-③. バルブ事業 (前年同期比)

	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	2,604	—	2,577	—	▲ 26	▲ 1.0%
うち、海外受注高	425		222		▲ 202	▲ 47.6%
売上高	2,455	—	2,535	—	79	3.2%
うち、海外売上高	450		342		▲ 108	▲ 24.0%
セグメント利益	159	6.5%	147	5.8%	▲ 11	▲ 7.5%



<受注高>

- 上下水道処理設備向けや製菓向けなどが好調
- × 化学向けが低調

<売上高>

- 上下水道処理設備向けや製菓向けなどが好調
- × 化学向けが低調

<セグメント利益>

- × 原材料価格の上昇

3-①. セグメント別の業績（受注高、売上高）前年同期比

(百万円)

	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	8,479	40.2%	8,029	39.6%	▲ 450	▲ 5.3%
プロセスエンジニアリング事業	9,970	47.3%	9,603	47.4%	▲ 367	▲ 3.7%
バルブ事業	2,604	12.3%	2,577	12.7%	▲ 26	▲ 1.0%
その他	46	0.2%	48	0.3%	2	4.9%
受注高	21,100	100.0%	20,259	100.0%	▲ 841	▲ 4.0%
熱交換器事業	7,719	42.9%	8,694	39.7%	974	12.6%
プロセスエンジニアリング事業	7,779	43.2%	10,615	48.5%	2,836	36.5%
バルブ事業	2,455	13.6%	2,535	11.6%	79	3.2%
その他	46	0.3%	48	0.2%	2	4.9%
売上高	18,000	100.0%	21,893	100.0%	3,893	21.6%

3-②. セグメント別の業績（営業利益、受注残高）前年同期比

(百万円)

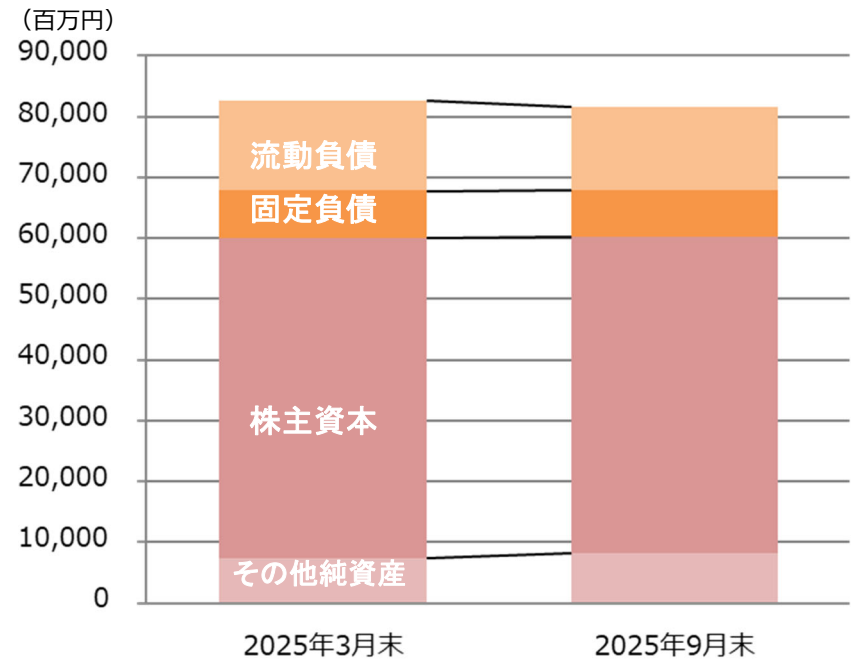
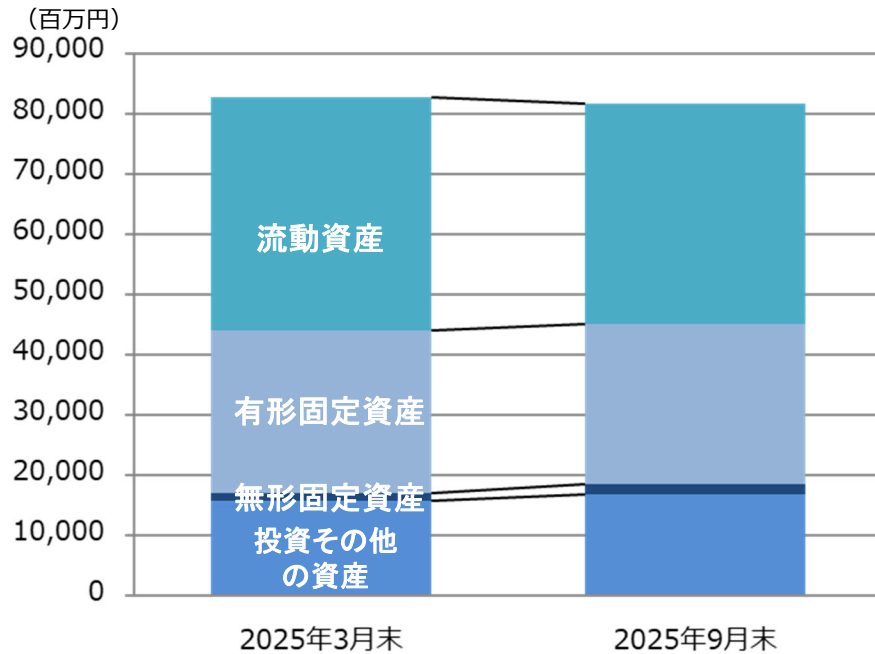
	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	585	47.6%	580	29.6%	▲ 4	▲ 0.8%
プロセスエンジニアリング事業	450	36.6%	1,194	61.0%	743	165.0%
バルブ事業	159	13.0%	147	7.5%	▲ 11	▲ 7.5%
その他	34	2.8%	36	1.9%	2	7.1%
小計	1,230	100.0%	1,959	100.0%	729	59.3%
調整額	▲ 100	—	▲ 136	—	▲ 35	—
営業利益	1,129	—	1,822	—	693	61.4%
熱交換器事業	7,713	29.1%	6,929	26.9%	▲ 783	▲ 10.2%
プロセスエンジニアリング事業	17,332	65.3%	17,135	66.7%	▲ 196	▲ 1.1%
バルブ事業	1,474	5.6%	1,636	6.4%	161	10.9%
その他	—	—	—	—	—	—
受注残高	26,520	100.0%	25,701	100.0%	▲ 818	▲ 3.1%

3-③. セグメント別の業績（受注高、売上高、営業利益） 計画比

(百万円)

	2026年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		増減	
	計画	構成比	実績	構成比	増減額	達成率
熱交換器事業	8,800	44.0%	8,029	39.6%	▲ 770	91.2%
プロセスエンジニアリング事業	8,400	42.0%	9,603	47.4%	1,203	114.3%
バルブ事業	2,750	13.8%	2,577	12.7%	▲ 172	93.7%
その他	50	0.2%	48	0.3%	▲ 1	96.7%
受注高	20,000	100.0%	20,259	100.0%	259	101.3%
熱交換器事業	8,900	38.7%	8,694	39.7%	▲ 205	97.7%
プロセスエンジニアリング事業	11,500	50.0%	10,615	48.5%	▲ 884	92.3%
バルブ事業	2,550	11.1%	2,535	11.6%	▲ 14	99.4%
その他	50	0.2%	48	0.2%	▲ 1	96.7%
売上高	23,000	100.0%	21,893	100.0%	▲ 1,106	95.2%
熱交換器事業	900	47.4%	580	29.6%	▲ 319	64.5%
プロセスエンジニアリング事業	900	47.4%	1,194	61.0%	294	132.7%
バルブ事業	70	3.7%	147	7.5%	77	211.0%
その他	30	1.5%	36	1.9%	6	123.3%
小計	1,900	100.0%	1,959	100.0%	59	103.1%
調整額	▲ 200	—	▲ 136	—	63	—
営業利益	1,700	—	1,822	—	122	107.2%

4. 資産・負債・純資産の状況



(百万円)

	2025年3月末	2025年9月末	増減額
流動資産	38,651	36,513	▲ 2,138
有形固定資産	27,077	26,658	▲ 419
無形固定資産	1,309	1,558	248
投資その他の資産	15,657	16,928	1,270
固定資産合計	44,045	45,145	1,100
資産合計	82,697	81,659	▲ 1,037

(百万円)

	2025年3月末	2025年9月末	増減額
流動負債	14,779	13,666	▲ 1,113
固定負債	7,898	7,674	▲ 224
負債合計	22,677	21,340	▲ 1,336
株主資本	52,635	52,104	▲ 531
その他純資産	7,384	8,213	829
純資産合計	60,019	60,318	298
負債純資産合計	82,697	81,658	▲ 1,038

5. 連結キャッシュフローの状況

	2025年3月期 第2四半期	(百万円) 2026年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	317	520
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,207	▲ 305
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,144	▲ 2,035
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	▲ 11
現金及び現金同等物の増減額	▲ 3,985	▲ 1,831
現金及び現金同等物の期首残高	13,746	12,824
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,760	10,992

2026年3月期 決算の見通し

(百万円)

6-①. 通期計画の概要

	2025年3月期 通期		2026年3月期 通期		増減		2026年3月期 第2四半期	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率	実績	通期計画進捗率
受注高	42,269	—	41,000	—	▲ 1,269	▲ 3.0%	20,259	49.4%
売上高	38,353	—	44,000	—	5,646	14.7%	21,893	49.8%
営業利益	2,930	7.6%	3,000	6.8%	69	2.4%	1,822	60.8%
経常利益	3,391	8.8%	3,350	7.6%	▲ 41	▲ 1.2%	1,929	57.6%
親会社株主に帰属 する当(半)期純利益	3,782	9.9%	2,690	6.1%	▲ 1,092	▲ 28.9%	1,419	52.8%

※ 2026年3月期の連結業績予想（2025年5月15日公表）に変更はありませんが、最新の事業動向を踏まえ、セグメント別の業績見直しを見直しました。詳細は次のページご説明いたします。

6-② . 通期修正計画の概要 (セグメント別・当初計画比)

	2026年3月期 通期		2026年3月期 通期		増減	
	当初計画 (2025/5/15公表)	構成比	修正計画 (2025/11/14公表)	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	17,600	42.9%	17,300	42.2%	▲ 300	▲ 1.7%
プロセスエンジニアリング事業	17,800	43.4%	18,200	44.4%	400	2.2%
バルブ事業	5,500	13.4%	5,400	13.2%	▲ 100	▲ 1.8%
その他	100	0.3%	100	0.2%	—	—
受注高	41,000	100.0%	41,000	100.0%	—	—
熱交換器事業	17,700	40.2%	17,500	39.8%	▲ 200	▲ 1.1%
プロセスエンジニアリング事業	21,000	47.7%	21,300	48.4%	300	1.4%
バルブ事業	5,200	11.8%	5,100	11.6%	▲ 100	▲ 1.9%
その他	100	0.3%	100	0.2%	—	—
売上高	44,000	100.0%	44,000	100.0%	—	—
熱交換器事業	1,850	55.2%	1,100	33.3%	▲ 750	▲ 40.5%
プロセスエンジニアリング事業	1,250	37.3%	1,850	56.1%	600	48.0%
バルブ事業	200	6.0%	300	9.1%	100	50.0%
その他	50	1.5%	50	1.5%	—	—
小計	3,350	100.0%	3,300	100.0%	▲ 50	▲ 1.5%
調整額	▲ 350	—	▲ 300	—	50	▲ 14.3%
営業利益	3,000	—	3,000	—	—	—

※ 2026年3月期の連結業績予想（2025年5月15日公表）に変更はありませんが、最新の事業動向を踏まえ、セグメント別の業績見直しを見直しました。

6-③ . 通期修正計画の概要 (セグメント別・前期比)

	2025年3月期 通期		2026年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	修正計画 (2025/11/14公表)	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	16,793	39.7%	17,300	42.2%	506	3.0%
プロセスエンジニアリング事業	20,165	47.7%	18,200	44.4%	▲ 1,965	▲ 9.7%
バルブ事業	5,221	12.4%	5,400	13.2%	178	3.4%
その他	88	0.2%	100	0.2%	11	13.3%
受注高	42,269	100.0%	41,000	100.0%	▲ 1,269	▲ 3.0%
熱交換器事業	16,152	42.1%	17,500	39.8%	1,347	8.3%
プロセスエンジニアリング事業	17,158	44.7%	21,300	48.4%	4,141	24.1%
バルブ事業	4,954	12.9%	5,100	11.6%	145	2.9%
その他	88	0.3%	100	0.2%	11	13.3%
売上高	38,353	100.0%	44,000	100.0%	5,646	14.7%
熱交換器事業	1,342	43.0%	1,100	33.3%	▲ 242	▲ 18.1%
プロセスエンジニアリング事業	1,418	45.5%	1,850	56.1%	431	30.4%
バルブ事業	292	9.4%	300	9.1%	7	2.4%
その他	65	2.1%	50	1.5%	▲ 15	▲ 23.2%
小計	3,118	100.0%	3,300	100.0%	181	5.8%
調整額	▲ 187	—	▲ 300	—	▲ 112	—
営業利益	2,930	—	3,000	—	69	2.4%

※ 2026年3月期の連結業績予想（2025年5月15日公表）に変更はありませんが、最新の事業動向を踏まえ、セグメント別の業績見直しを見直しました。

6-④ . 通期修正計画の進捗状況 (セグメント別)

(百万円)

	2026年3月期 通期		2026年3月期 第2四半期		
	修正計画 (2025/11/14公表)	構成比	実績	構成比	通期修正計画 進捗率
熱交換器事業	17,300	42.2%	8,029	39.6%	46.4%
プロセスエンジニアリング事業	18,200	44.4%	9,603	47.4%	52.8%
バルブ事業	5,400	13.2%	2,577	12.7%	47.7%
その他	100	0.2%	48	0.3%	48.3%
受注高	41,000	100.0%	20,259	100.0%	49.4%
熱交換器事業	17,500	39.8%	8,694	39.7%	49.7%
プロセスエンジニアリング事業	21,300	48.4%	10,615	48.5%	49.8%
バルブ事業	5,100	11.6%	2,535	11.6%	49.7%
その他	100	0.2%	48	0.2%	48.3%
売上高	44,000	100.0%	21,893	100.0%	49.8%
熱交換器事業	1,100	33.3%	580	29.6%	52.8%
プロセスエンジニアリング事業	1,850	56.1%	1,194	61.0%	64.6%
バルブ事業	300	9.1%	147	7.5%	49.2%
その他	50	1.5%	36	1.9%	74.0%
小計	3,300	100.0%	1,959	100.0%	59.4%
調整額	▲ 300	—	▲ 136	—	—
営業利益	3,000	—	1,822	—	60.8%

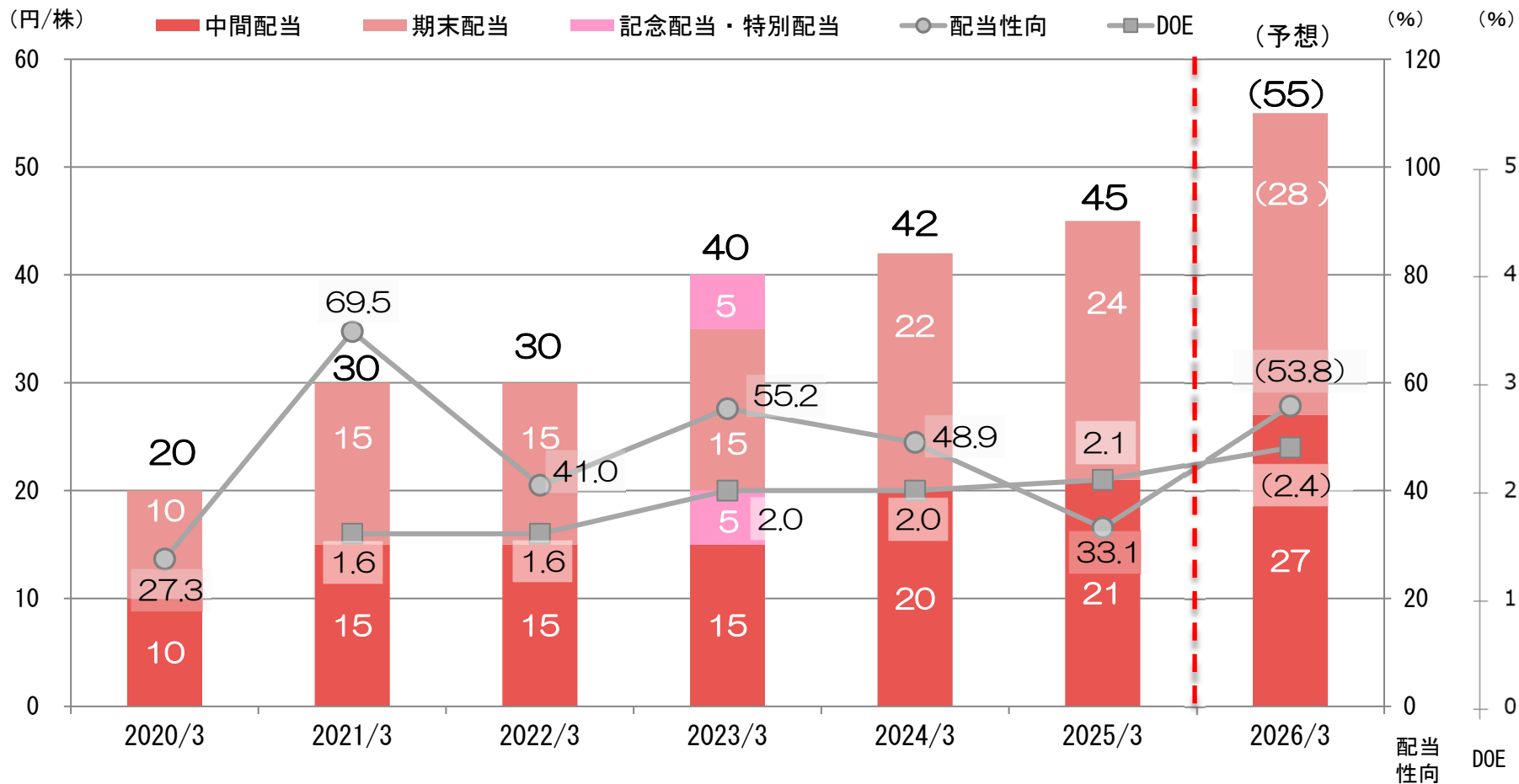
※ 2026年3月期の連結業績予想 (2025年5月15日公表) に変更はありませんが、最新の事業動向を踏まえ、セグメント別の業績見直しを見直しました。

(百万円)

7. 設備投資・減価償却の計画

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	
	実績	実績	実績	上期実績	計画
設備投資	4,956	6,118	5,403	1,293	2,800
内容	各事業の機械設備や金型の更新、生駒事業所の建築工事 など	生駒事業所の建築工事、熱交換器事業のソフトウェア、各事業の機械設備導入・更新 など	鴻池事業所の改修工事、生駒事業所の別棟建築工事、熱交換器事業のソフトウェア、各事業の機械設備や金型の導入・更新 など	鴻池事業所の改修工事、熱交換器事業のソフトウェア、各事業の機械設備や金型の導入・更新 など	
減価償却	1,045	1,259	1,630	837	1,800

8. 配当の計画



【利益配分の基本方針】

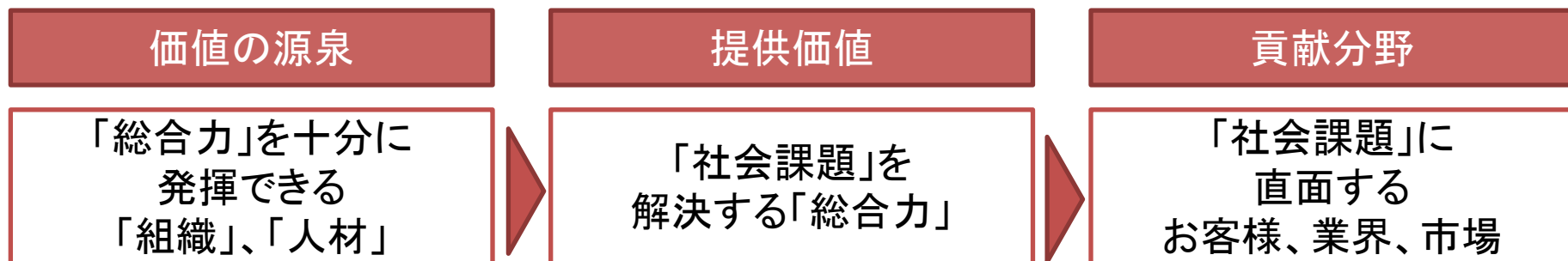
全てのステークホルダーの皆様に対し「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対する適正な利益の還元を基本方針としています。具体的には、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結純資産及び連結業績の状況を勘案し、**連結純資産配当率(DOE)2.0%以上**を目途に継続的・安定的な配当に努めます。

企業価値向上に向けた 取り組み

9-①. 成長戦略(長期ビジョン)

長期ビジョン【2043年3月期（創業100周年）】

**流体の熱と圧力の制御技術を結集し、
エネルギー・水・食の明日(あした)を、お客様と共に支える企業になる**



当社の存在意義

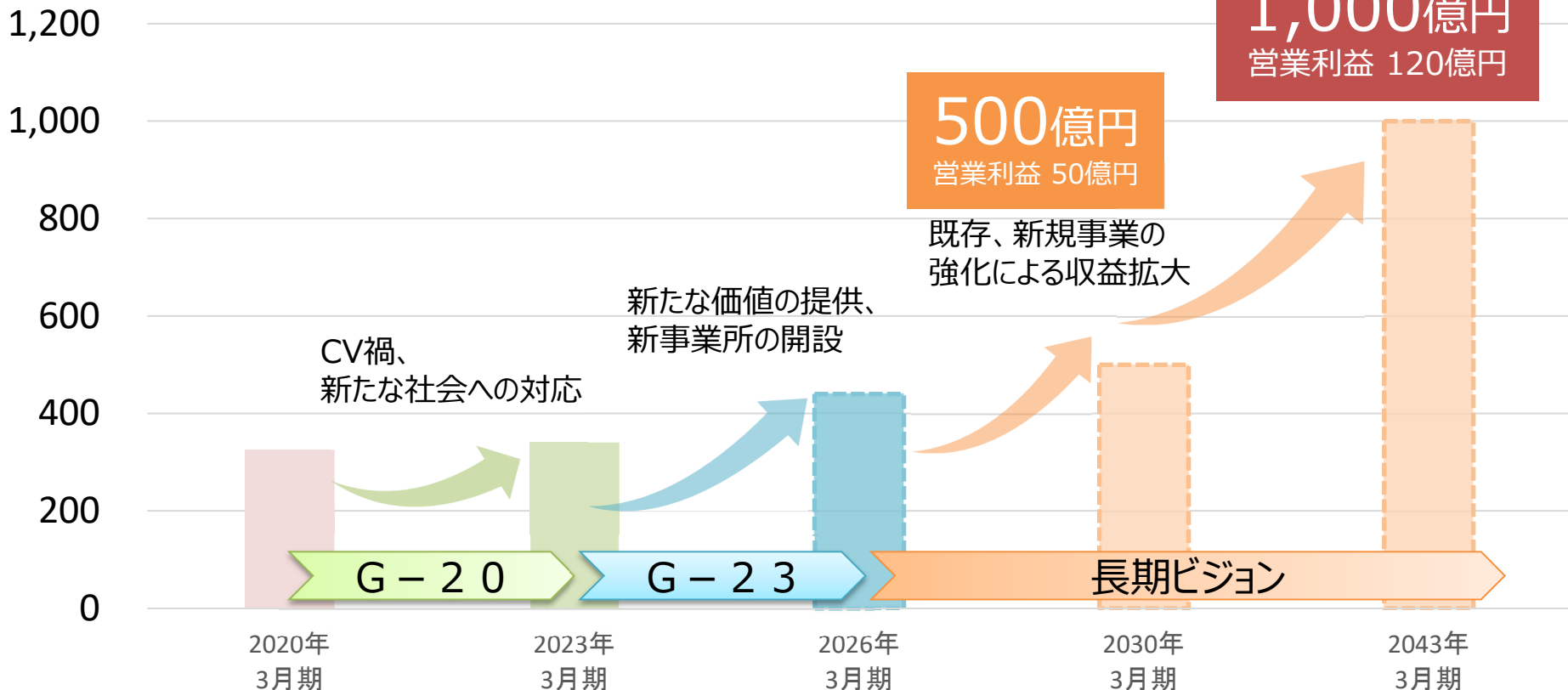
**社会課題を解決できる「省エネ」「省人化」を実現する
良質な「機械」や「サービス」を安定して供給できるメーカーであること。**

9-②. 成長戦略(連結業績目標)

2043年3月期

売上高 1,000億円 営業利益 120億円

(億円)



9-③. 中期経営計画「G-23」基本方針

重要課題（マテリアリティ）への対応

マテリアリティ		取り組み項目
地球環境への貢献	① 気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出量削減 ● 再生可能エネルギーの使用 ● 廃棄物の削減、資源の保全
持続可能な社会の構築	② 安全安心で持続可能な商品・サービスの提供 ③ 中長期的な労働力不足への対応 ④ 地域社会との共存共栄	<ul style="list-style-type: none"> ● 食の安全安心と健康増進への貢献 ● 省人化を実現する商品・サービスの提供 ● 地域社会とのつながり ● 強固なサプライチェーンの構築
人を活かす	⑤ 多様な人材の育成と活用 ⑥ 事業の継続・拡大に必要な人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 社員の成長と働きがいの向上 ● 新卒・中途採用の強化と定着率向上
経営基盤の強化	⑦ コーポレートガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な経営の推進 ● コンプライアンス遵守 ● リスクマネジメント

資本コストや株価を 意識した経営の実現に向けた 対応

- **成長戦略及び投資**
- **政策保有株式の縮減**
- **株主還元の強化**
- **IRへの取り組み**

10. 現状認識

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
PBR (倍)	0.45	0.41	0.45	0.47	0.45	※ 0.59
ROE (%)	2.3	3.8	3.7	4.2	6.3	4.5
配当性向 (%)	69.5	41.0	55.2	48.9	33.1	53.8
DOE (%)	1.6	1.6	2.0	2.0	2.1	2.4

※2026年3月期のPBRは、2025年9月末現在

PBR 過去5年間 0.4~0.6 倍

- ▶株主資本コストに対し ROE が低水準
- ▶十分なエクイティ・スプレッドを実現できていない

2025年3月期に実施した資本政策

- ▶政策保有株式の縮減
- ▶自己株式取得

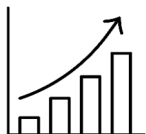
⇒さらなる収益性の向上が必要

11-①. 成長戦略及び投資



コア技術を活用した社会課題解決へ貢献

- カーボンニュートラルの実現
- 食品ロスの削減
- 省エネ・省人化の実現



売上拡大、収益性向上に向けた取り組み

- 海外市場への展開
- 新規事業・新製品開発
- 部品・メンテナンス事業強化
- 生産体制強化
- 事業領域の拡大

11-②. 成長戦略及び投資

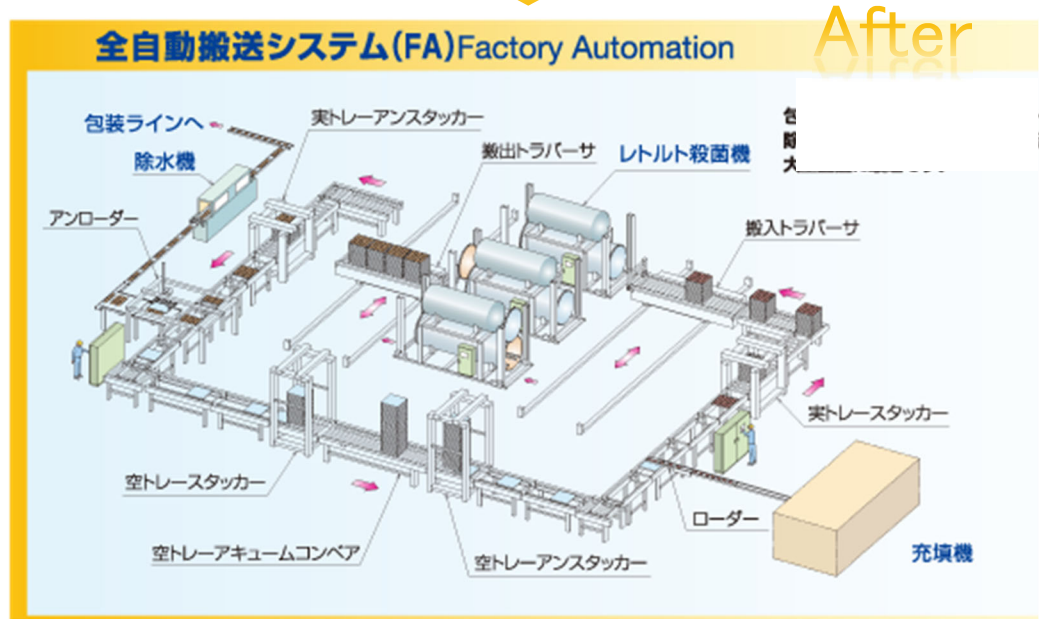
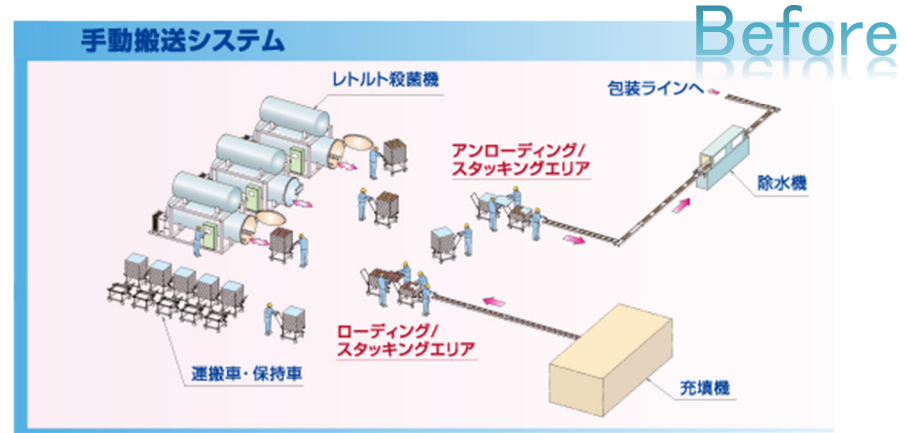
政府が進める戦略投資 17分野のうち当社に関連する分野

分野	セグメント	具体的な分野と当社製品
造船	熱交換器	新造船（エンジン冷却用等の熱交換器）
フードテック	PE	食品産業の省人化（食品機器の自動化） フードロスの削減（殺菌装置による賞味期限延長） 食の安全性向上（HACCP対応機器の提供） 食品産業の環境負荷低減（環境対応製品の提案）
資源 エネルギー安全保障 GX	熱交換器	CO ₂ 回収（CO ₂ 回収装置向け熱交換器） 水素製造（水素製造装置向け熱交換器） 再生可能エネルギー（地熱発電所向け熱交換器） 原子力（原子力発電所向け熱交換器）
創薬 先端医療	PE	製薬（バイオ医薬品等の培養プラント）

その他の関連分野：AI・半導体、合成生物学・バイオ、デジタル・サイバーセキュリティ、防災・国土強靱化

11-③. 成長戦略及び投資

食品向け自動化装置

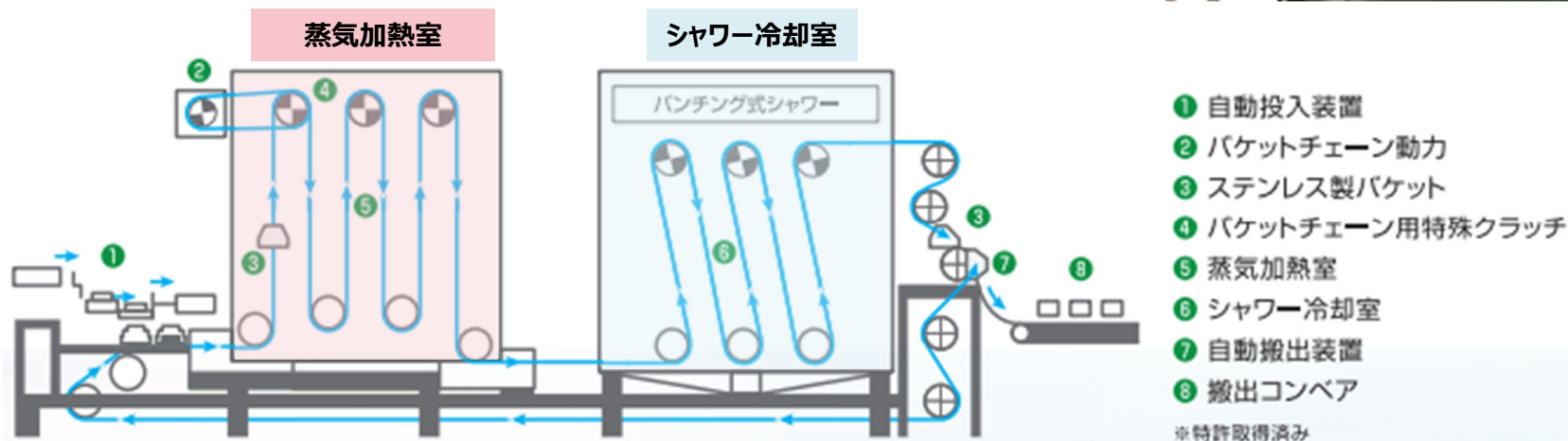


11-④. 成長戦略及び投資

全自動連続殺菌冷却装置 リフトスチーマーZ



殺菌冷却システム例

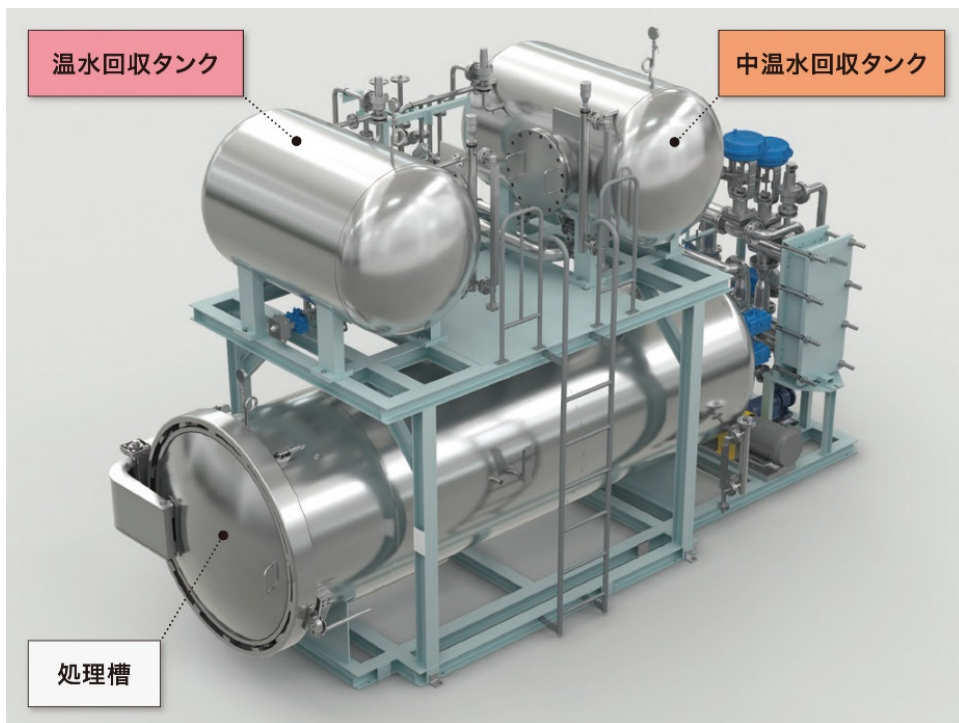


11-⑤. 成長戦略及び投資

“超省エネ型” 加熱殺菌・滅菌装置

2つの熱回収タンクを搭載し、今まで活用できていなかった熱を再利用。

従来品比 最大**50%**の蒸気使用量を削減



温水回収タンク

製品加熱後の水
(約120℃) を回収



次バッチの製品加熱に
利用

中温水回収タンク

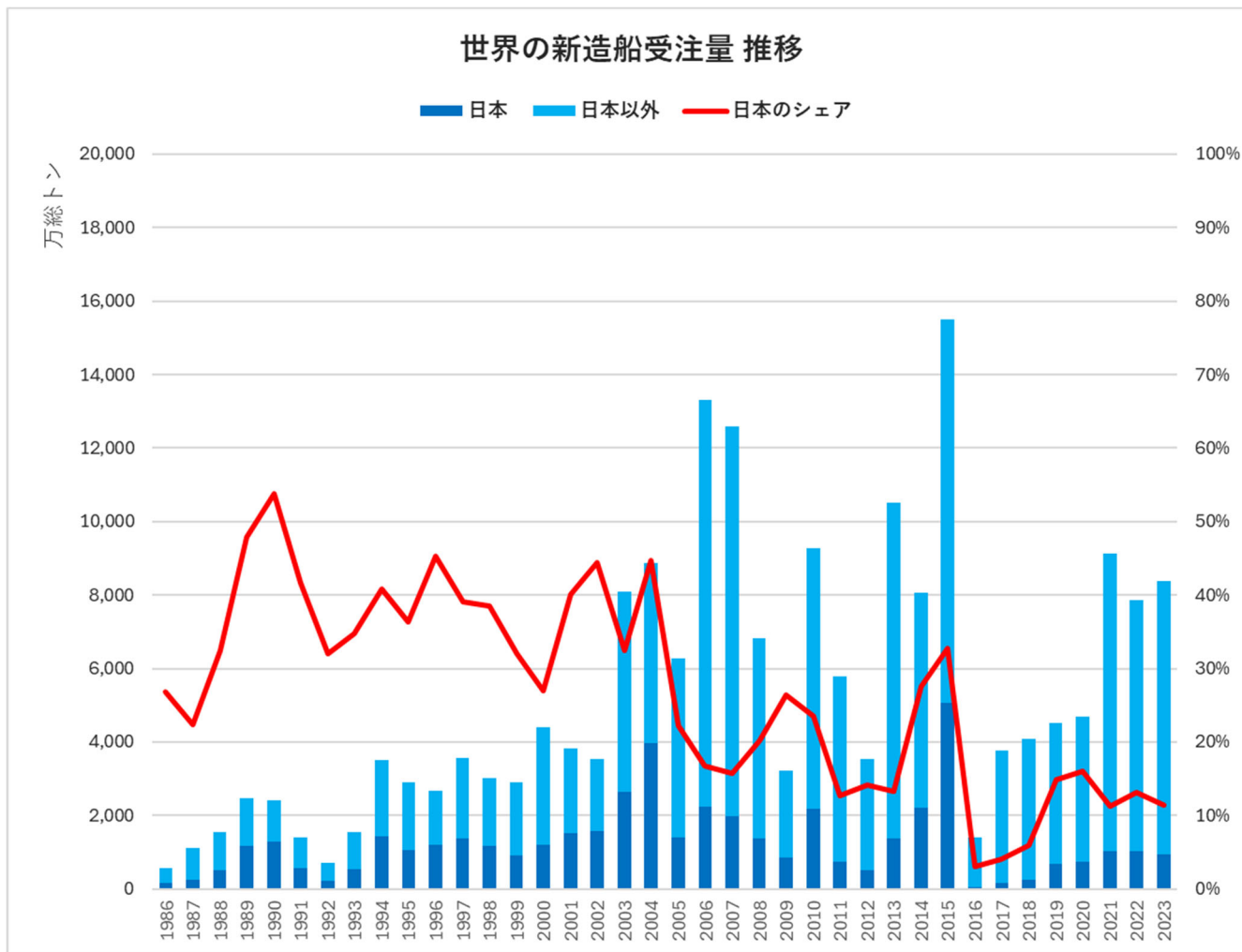
製品予冷後の水
(約90℃) を回収



次バッチの製品予熱に
利用

11-⑥. 成長戦略及び投資

造船業界の動向



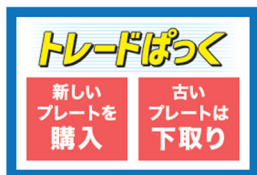
国土交通白書2024より当社作成

11-⑦. 成長戦略及び投資

船舶向け熱交換器



エンジン、発電機等の冷却用熱交換器やMGO（環境対応燃料）の冷却用熱交換器など



新品のプレートが届きます。



下取りされた古いプレートを送り返します。

船舶向け熱交換器メンテナンスサービス「トレードぱっく」



尾道営業所

造船所、船主などが集積する尾道、今治地域に営業所を設置。

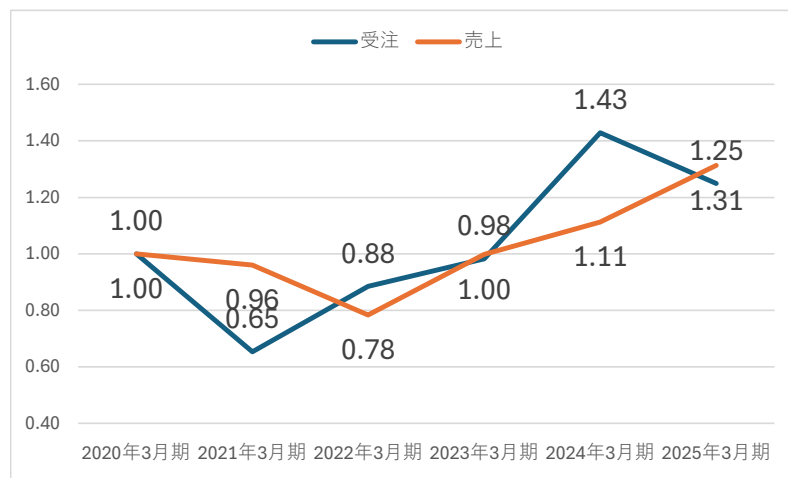


HISAKA KOREA CO., LTD.

日阪 (中国) 機械科技有限公司

造船で世界シェアの高い、中国、韓国において営業活動を強化。

船舶業界向けの熱交換器



11-⑧. 成長戦略及び投資

幅広い用途限定弁のラインアップ

様々な業種の顧客の利用シーンに合わせ、課題に対応できる用途限定弁のラインアップを拡充

耐圧性

鍛造高圧
ボールバルブ



両圧メタルタッチ
ボールバルブ



高圧安水用
ボールバルブ

シールドバルブ
(トンネル工事用)



高圧ガス設備用
認定バルブ

**特殊
仕様**



**汎用
機種**



標準型、三方型、自動型、他

耐摩耗性



セラミックライニング
ボールバルブ

半導体装置
排ガス用 3 方弁



耐食性



ダイヤフラム
バルブ

PFAライニング
ボールバルブ



モーター弁



セミジャケット付
ボールバルブ
(チョコレート用)

制御性

化学

製鉄

紙・パルプ

食品

環境

電力・
エネルギー



半導体

2次電池

11-⑨. 成長戦略及び投資

生産体制強化

生駒事業所開設、鴻池事業所再構築

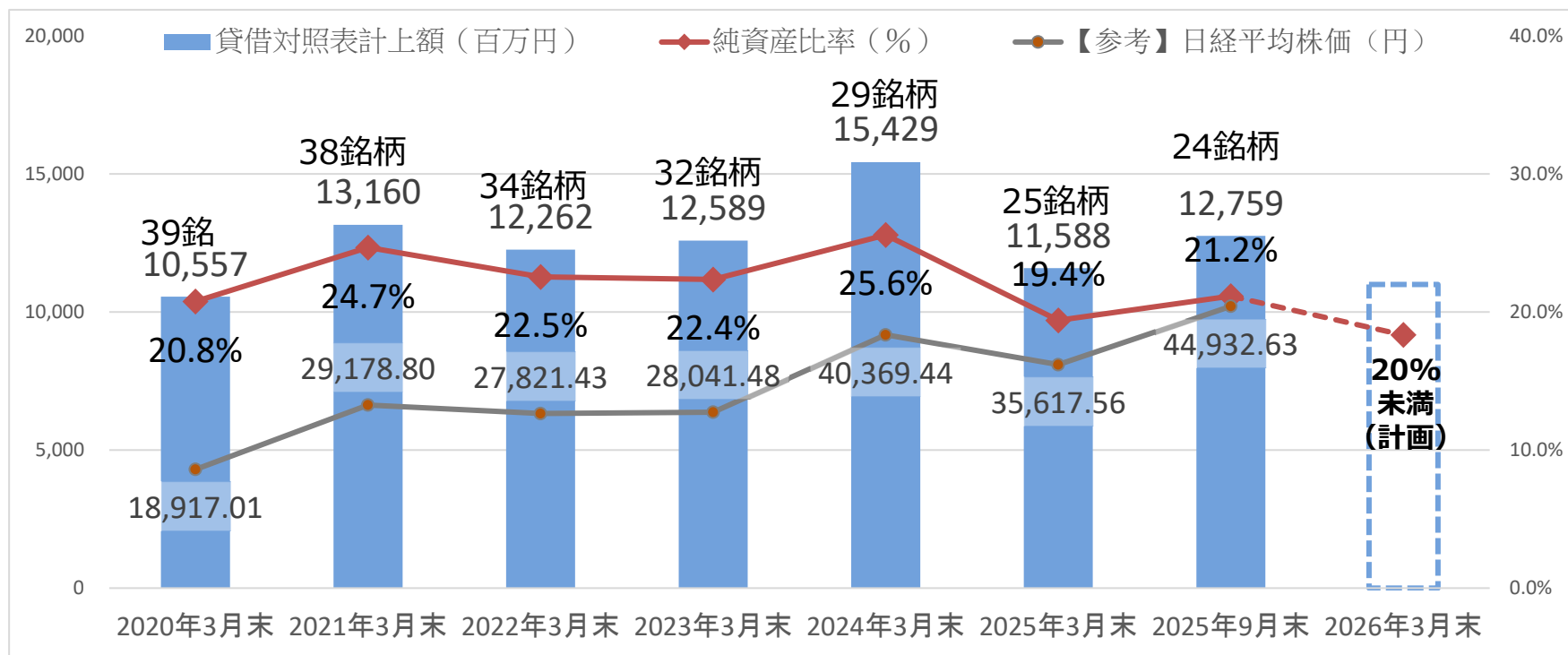
事業所	生駒事業所	鴻池事業所（再構築）
目的	プロセスエンジニアリング事業強化	熱交換器事業、バルブ事業強化
開設時期	2024年1月	2027年度 (熱交換器事業 2025年度 バルブ事業 2027年度)
投資効果	生産高1.5倍	生産高1.5倍 (熱交換器事業) 生産高1.3倍 (バルブ事業)
投資額	約100億円	約60億円
外観		

12. 政策保有株式の縮減

政策保有株式の売却状況（縮減額）

	2021年3月期～ 2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (上期)
銘柄数	9銘柄	6銘柄	5銘柄	1銘柄
金額	1,880百万円	797百万円	2,727百万円	807百万円

政策保有株式の保有額の推移



13-①. 株主還元強化

(1) 増配の実施

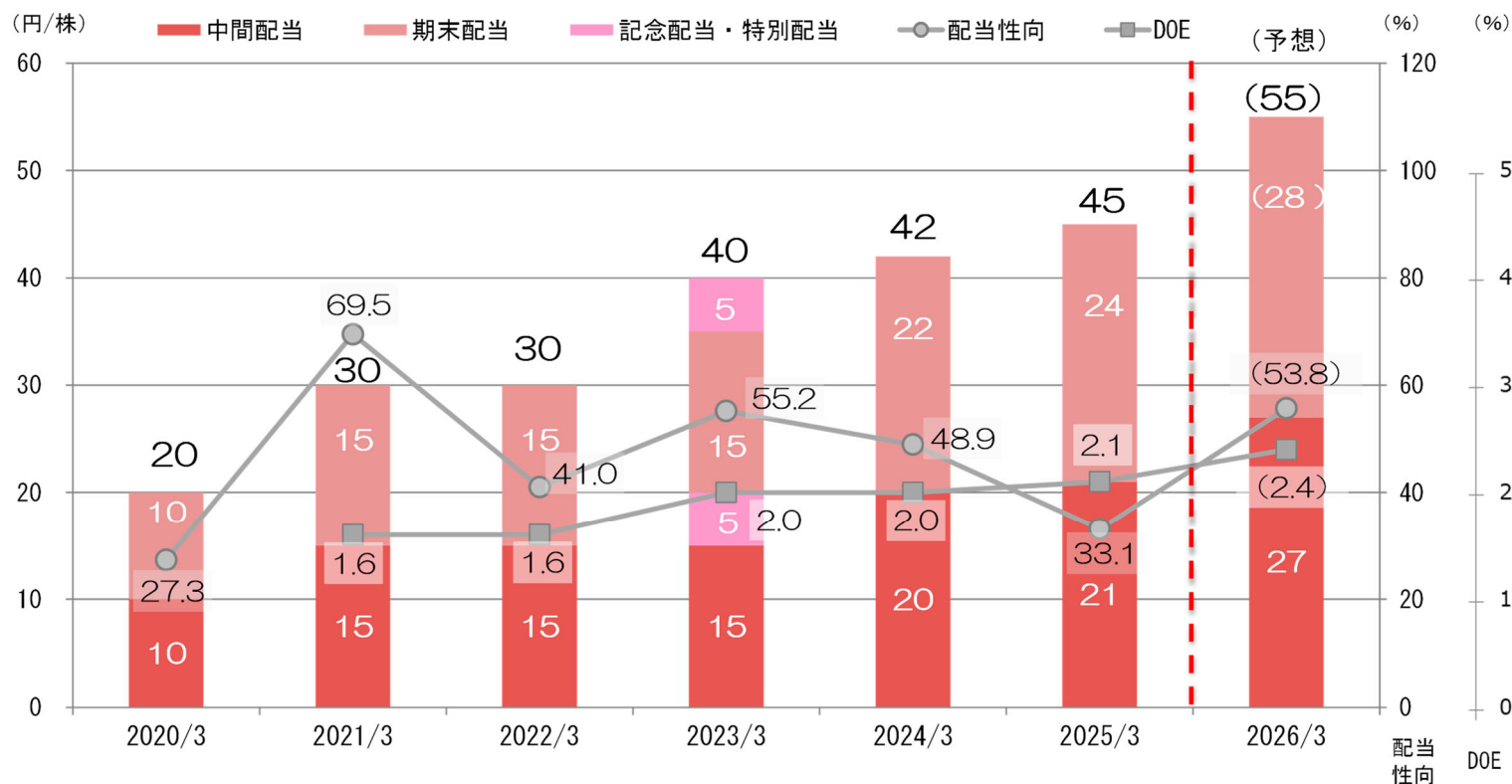
2021年3月期 DOEを導入 (DOE1.5%以上)

2023年3月期 創業80周年記念配当 (10円/株) を実施

2024年3月期 DOEを引き上げ (DOE2.0%以上)、引き上げに伴い2円/株増配

2025年3月期 3円/株増配

2026年3月期 10円/株増配予定



13-②. 株主還元強化

(2) 自己株式の取得

2025年3月期

取得株式数：100万株 取得金額 1,046百万円

➡2025年3月期の総還元性向 60.5%

2026年3月期

取得株式数：100万株 取得金額 1,344百万円

➡2026年3月期の総還元性向 100% (予想)

(3) 自己株式の消却

【自己株式の保有等に関する基本方針】

- 自己株式の保有比率の目安：発行済株式総数の5%
- 事業年度末における自己株式の保有率が10%を超えた場合、原則として翌事業年度中に保有率を5%程度まで低減するため、自己株式を消却

14-①. IRの取り組み

(1) 決算説明会、工場見学会、1on1ミーティングの実施

内容	回数	対象者	対応者
決算説明会	2023年度 2回 2024年度 2回 2025年度上期 1回	アナリスト、 機関投資家	社長、担当役員、 管理部部長
機関投資家向け 工場見学会	2024年度 1回	アナリスト、 機関投資家	事業所所長、 担当役員
1on1ミーティング	2023年度 45回 2024年度 42回 2025年度上期 28回	アナリスト、 機関投資家	社長、担当役員、 管理部部長、担当者
個人株主向け 工場見学会	2025年度上期 1回	個人株主	社長、事業本部長 管理部部長

14-②. IRの取り組み

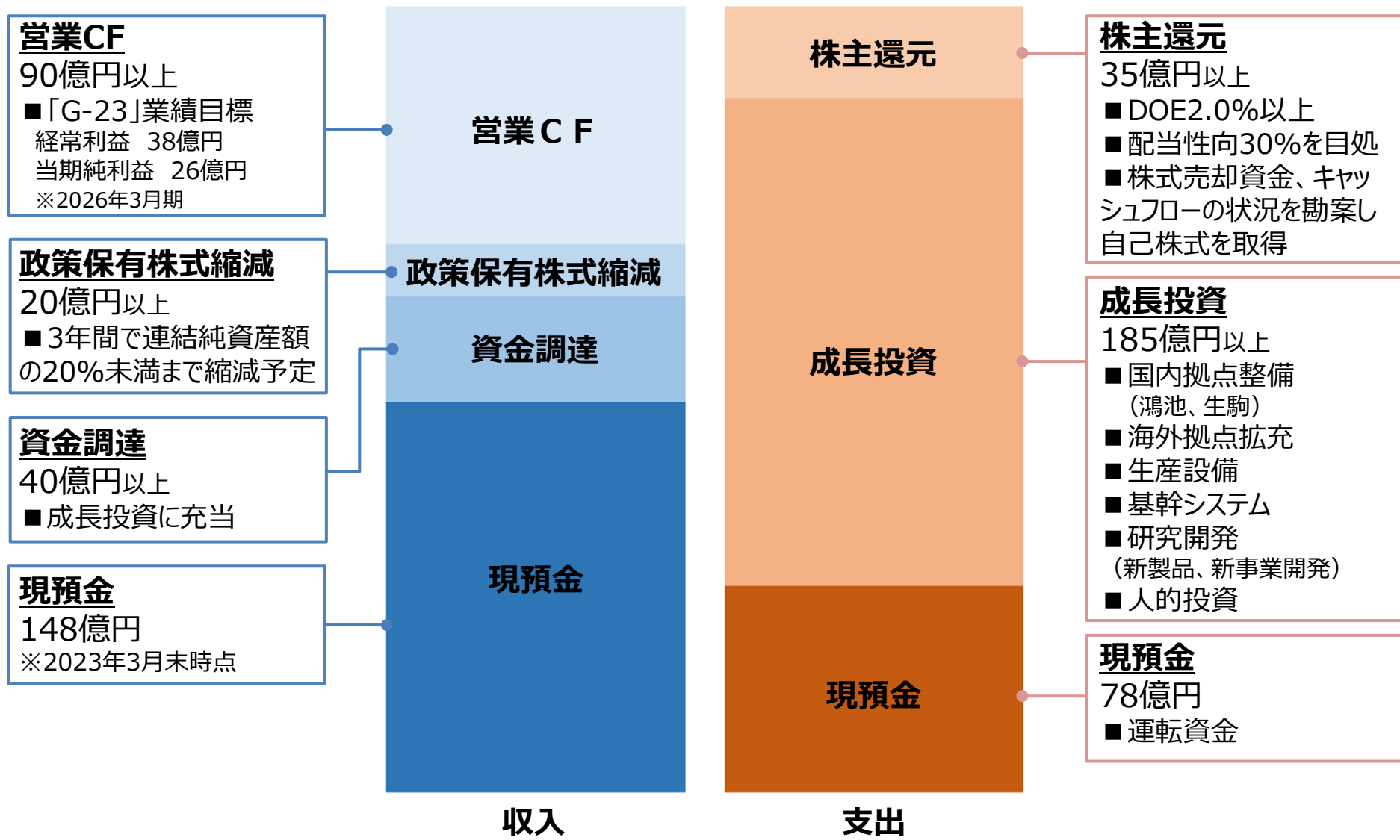
(2) 具体的な対話内容（よくある質問、ご意見）

質問の分類	質問内容
事業に関すること	競合他社の状況、市場におけるシェア、海外戦略、カーボンニュートラル関連市場での需要
業績に関すること	売上・利益拡大の具体的な施策、今後の成長ドライバー、中期経営計画達成の確度
投資に関すること	生駒事業所新設・鴻池事業所再構築にかかる費用と効果
コーポレートガバナンスに関すること	政策保有株式に関する考え方と縮減の見通し、役員を選任理由、役員報酬の妥当性
株主還元に関すること	配当金額や配当性向、DOEの妥当性

主なご意見	対応
株主還元が少ない DOEが低い	今後必要な投資などキャッシュアロケーションを踏まえ、2023年度より1.5%以上から2.0%以上へ引き上げ。自己株取得を実施。
政策保有株式を縮減すべきである	2023年11月に、現中期経営計画終結時（2026年3月末）までに純資産額の20%未満へ縮減する方針を決定。
現預金の用途を示すべきである	キャッシュアロケーションを用いて、今後の資金調達や使用内容をご説明（2023年12月開催の決算説明会にてご説明）。

15-①. 財務戦略(キャッシュアロケーション)

「G-23」(2024年3月期～2026年3月期) 累計



15-②. 財務戦略(キャッシュアロケーション)

「G-23」(2024年3月期～2026年3月期) 3年目上期までの進捗状況

	項目	3年計画	3年目上期 までの実績	備考
収入	営業CF	90億円以上	47.8億円	2024年3月期 ▲ 4.6億円 2025年3月期 +47.2億円 2026年3月期上期 +5.2億円
	政策保有株式縮減	20億円以上	43.3億円	12銘柄売却 (P.37参照)
	資金調達	40億円以上	50.0億円	社債及び長期借入による調達
支出	株主還元	35億円以上	55.8億円	配当金 31.7億円 自己株式取得 23.9億円
	成長投資	185億円以上	123.3億円	生駒事業所建築工事、鴻池事業所 改修工事、熱交換器事業の基幹シ ステム開発など
	現預金	78億円	110.8億円	2023年3月末より37.9億円減少

※通常投資(維持・更新を目的とした設備投資等)などによる現預金への影響は除きます。

【参考資料】

中期経営計画

「G-23」の概要

参考①. 「G-23」ビジョン・スローガン

2023年度～2025年度 中期経営計画

G-23

Growth Governance
Global Goal

ビジョン

一人ひとりの挑戦で、事業の発展と共に 活力のある社員集団を実現する

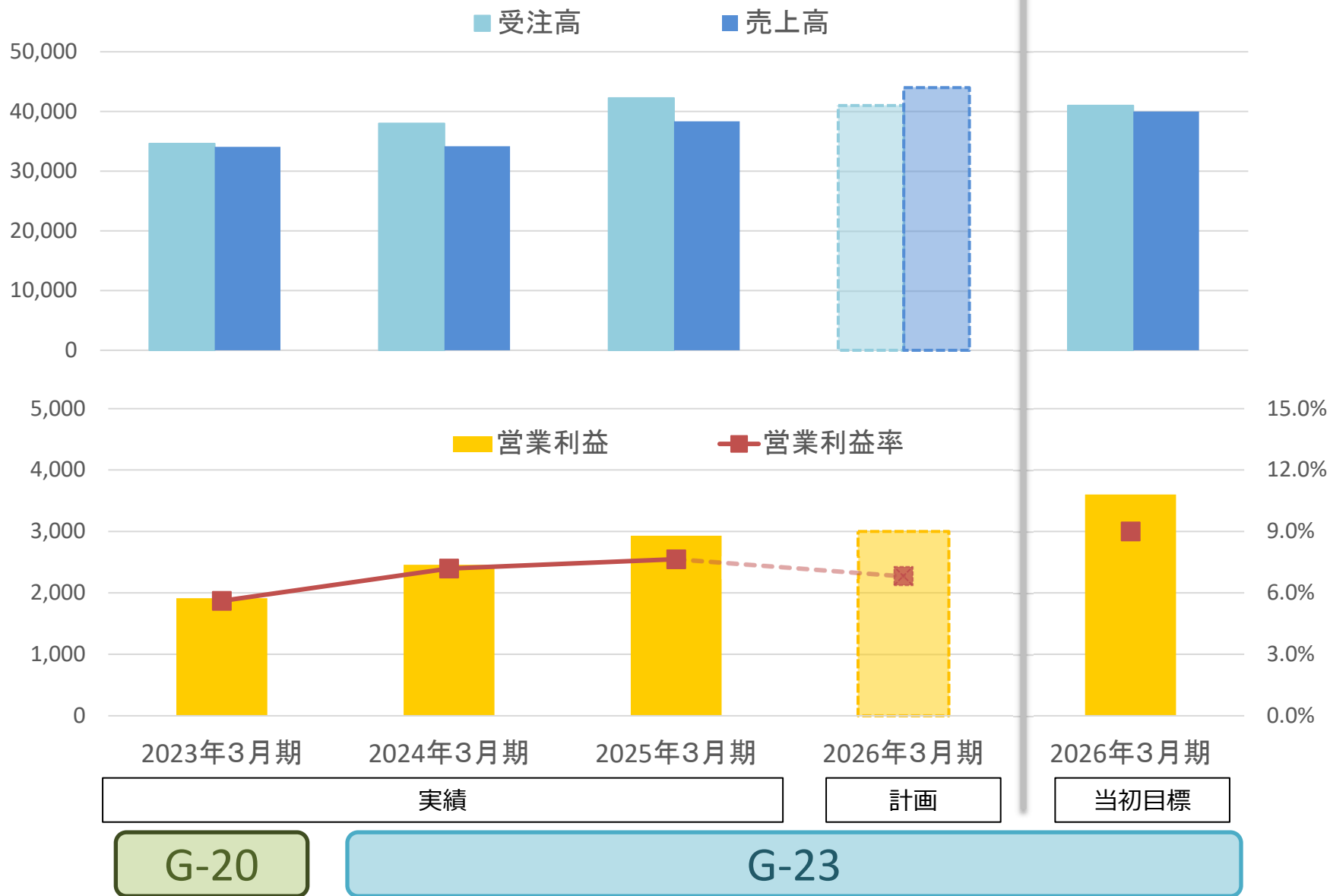
スローガン

技術に想いをのせて いけ サステナブル社会の実現に向けて

参考②. 「G-23」連結業績目標

	G-20 最終年度 2023年3月期 実績	G-23				増減率 B-A A
		2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画 B	2026年3月期 当初目標 A	
		(百万円)				
受注高	34,621	37,999	42,269	41,000	41,000	—
売上高	34,074	34,180	38,353	44,000	40,000	10.0%
営業利益	1,912	2,457	2,930	3,000	3,600	▲ 16.7%
営業利益率	5.6%	7.2%	7.6%	6.8%	9.0%	▲ 2.2pt
経常利益	2,392	2,896	3,391	3,350	3,800	▲ 11.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,040	2,420	3,782	2,690	2,600	3.5%
ROE	3.7%	4.2%	6.3%	4.5%	4.5%	—

参考③. 「G-23」 連結業績目標



参考④. 熱交換器事業の取り組み

事業戦略

熱ソリューションの提供

- 熱に関する困りごとを解決する
提案力の向上
- 熱交換器、周辺機器のラインアップ拡充

社会課題への貢献

- カーボンニュートラル関連市場への納入
 - ・ CO₂回収装置
 - ・ 水素製造設備
 - ・ バイオマス発電所 など

グローバル戦略

- グローバル生産体制構築による生産平準化とBCP構築。
- 海外メンテナンスサービス強化

大型投資

- 鴻池事業所の再構築
- 新基幹システムの導入



参考⑤. プロセスエンジニアリング事業の取り組み

事業戦略

エンジニアリング事業強化

- 複数の機器、前後工程などを組み合わせたプラントの設計、施工
- メンテナンス事業強化
- グループ会社再編（マイクロゼロ㈱、旭工業㈱）

社会課題への貢献

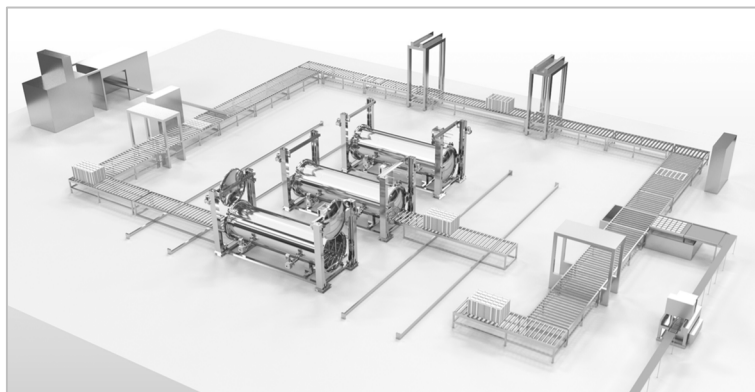
- 食品ロス削減・・・食品殺菌装置
- 医薬品安定供給・・・医薬品プラント
- 水資源保全・・・染色仕上機器などの開発、提供
- 省人化ニーズへの対応

グローバル戦略

- アジア圏向け食品機器・染色仕上機器
- 中国漢方薬向け医薬機器などの販売強化

大型投資

- 生駒事業所の稼働



参考⑥. バルブ事業の取り組み

事業戦略

顧客ニーズに寄り添う製品の拡充

- 用途限定弁（バルブ）のラインアップ強化

社会課題への貢献

- カーボンニュートラル関連市場への納入（二次電池など）

グローバル戦略

- 東南アジアでの販売強化（現地グループ会社、販売代理店との関係強化）

大型投資

- 鴻池事業所の再構築



<お問い合わせ先>

(株)日阪製作所 管理統括本部 管理部

WEB : <https://www.hisaka.co.jp>

e-mail : ir@hisaka.co.jp

TEL : 06-6363-0015

〒530-0057

大阪市北区曾根崎2-12-7 (清和梅田ビル20階)



ひ さ か
株式会社 日阪製作所

～ロゴマークの由来～

日本の「日」とステンレス (STAINLESS) の「S」を組み合わせてデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～

日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「日」と大阪の「阪」をとり、「日阪製作所」と命名した。

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。